



声高らかに、第4楽章を合唱

## 歓喜の歌 高らかに

### 第九コンサート

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学・総社市包括協定締結記念コンサート「第九」の演奏会が12月24日、市民会館で開催されました。

事前に応募した中学生や合唱団員で構成された総社第九記念合唱団と、同大学の学生らで構成された作陽大学管弦楽団の団員ら約150人が出演。歓喜の歌を高らかに合唱し、訪れた聴衆を魅了していました。

市は、包括協定締結を機に、平成24年以降毎年記念コンサートを実施しており、平成27年からは第九のコンサートを行っています。

## 優秀な政策提言を表彰

### インターンシップ優秀提言表彰式

8月から9月にかけて市役所で行われたインターンシップ。市内外の5大学から49人の学生が参加しました。

岡山県立大学、くらしき作陽大学、川崎医療福祉大学の学生はインターンシップ後、体験をもとに作成した政策提言を市に提出。独創性や実現可能性などを関係者が審査し、優秀提言が決定。選ばれた10人の表彰式が、12月19日と26日に、市役所で行われました。

19日は、岡山県立大学と、くらしき作陽大学の学生を表彰。表彰されたのは、神崎勇人さん、末紗来良さん、多田麻佑子さん、小野瑞貴さん、森本春香さん、條愛美さん（以上、岡山県立大学）、高谷真弓さん、風早春佳さん、渡邊歩光さん（以上、くらしき作陽大学）。市長から学生に、賞状と記念品が手渡されました。26日には、川崎医療福祉大学の藤原康史さんが表彰されています。

学生は、空き家の有効活用や雪舟くんを利用した観光ツアー、男性の育休制度の充実、不妊治療の助成、移動型認知症カフェの創設などを提言。市では実現可能な提言から実行していきます。



表彰された岡山県立大学生（條愛美さん、森本春香さん、多田麻佑子さん、神崎勇人さん、写真上）。くらしき作陽大学生（渡邊歩光さん、風早春佳さん、高谷真弓さん、写真中）。川崎医療福祉大学の藤原康史さん（写真右）



## ミニフォト

### 火の用心を呼び掛ける



拍子木を打ち巡回する

空気が乾燥し、火災が増える冬の火災予防を啓発しようと、年末に消防団の特別警戒が実施されました。各分団ごとに消防車で半鐘を鳴らしたり、徒歩で拍子木を打ちながら地区内を巡回し、火の用心を呼び掛けていました。

### 1本の綱に気持ちを込めて



絆をつなぐ綱引き大会が12月16日、きびシアターで開催されました。一般、女性、小学生の3部門に総勢61チーム約800人が参加。10人ずつのチームで予選リーグと決勝トーナメントを戦い、絆を深めていました。

### 寒空のもとこたつでほっこり



冬の風物詩となったこたつ100個ライブが12月16日、市役所正面駐車場で開催されました。出演者は市内で活動するバンドなど6組。約800人の観客は、こたつに入り暖を取りながら、ライブで盛り上がっていました。

## カメラ フォトニュース まちの話題

### 水畑さん 100歳おめでとう



家族に祝福される水畑さん

水畑春子さん（井手）が1月5日に満100歳の誕生日を迎えられ、14日に市から記念品が贈られました。英語で日記を書くことが日課だったという水畑さん。長寿の秘訣は、家族の仲が良いことと、日々感謝して過ごすことだそうです。

### 側溝に落ちた友人の救助に協力



12月19日、青少年の善行を表彰する県わかば賞の伝達式が、総社西小学校で行われました。表彰されたのは、難波あみさん（3年）。下校中、側溝に落ちて倒れていた友人を発見。急いで友人の家族に知らせて救助に協力しました。

### 赤米の収穫を祝って



赤米の収穫祭である霜月祭が元日、新庄と本庄の国司神社で行われました。新庄国司神社では、フクラシの木にくくりつけた餅を担ぎ、姥御前（神田跡）との間を往復する「かけりもち」が行われ、児童が速さを競っていました。

### 新成人としての自覚新たに



約760人の新成人を祝う成人記念式が1月7日、市民会館で行われました。合唱やダンスなど全体参加の企画を楽しむと同時に、これまでの足跡を振り返り、新成人としての自覚を新たにしています。

### ご来光を拝み新年の幕開け



元旦にご来光を拝もうと、福山元旦登山が行われました。午前6時にJA岡山西清音ライスセンターを出発。1234段を上った参拝者は、ご来光を拝み、振る舞われた餅や甘酒を口にして、1年間の無病息災を祈願していました。

### 心を一つに歌い上げる



12月17日、総社ジュニアコーラスの定期演奏会が、山手公民館で開催されました。「我が故郷」「心の瞳」など10曲の合唱と、ミュージカル「アナと雪の女王」の上演が行われ、訪れた人を楽しませていました。